



2020年度 9月  
社会福祉法人 尚徳福祉会  
生麦保育園

日が落ちるのも随分早くなり、少しずつ秋の訪れを感じる季節となりましたが、残暑で汗ばむ日がしばらくは続きそうです。頑固な夏にもう少し付き合うつもりで、暑さ対策にも気を配っていきます。新型コロナウイルスだけでなく、この時期からはインフルエンザを始め秋から冬に流行しやすい感染症など、子どもたちの健康管理・安全対策には十分気を付けていきたいと考えております。引き続きのご協力をお願いいたします。



### ♪あいさつできるよ♪

朝、保育者が「おはよう」と声をかけると、笑顔で走ってきてギュッと「お・はよー」のかわいい声が聞こえてきます。帰る時には「ばいばーい」と手を振ったり、お友だちや保育者と「タッチ」と手を重ね合わせたりしている子どもたちの様子を見ると、ほほえましく元気の源となります。

食事やおやつを配ると嬉しそうにぺこりと頭をさげてお辞儀をしたり、「いただきます」「ごちそうさま」と小さな手を“パッチーン！”としたりする姿もあります。まだまだはっきりとした言葉でなくても、しぐさからその子なりの気持ちが伝わってきます。

お友だちや保育者との簡単なやりとりをする中で、日に日に話す言葉も増えていく子どもたちの成長に驚き、また嬉しく思う毎日です。子どもたちの温かい気持ちを大切にしながら、これからも見守っていきます。



### きもちいい～！

水遊びの準備をしていると、子どもたちの「あ～」「きゃー」の声と“はやくはやく”“まてないよー”の心の声が聞こえました。水遊びが始まると、タライの中の水に両手を入れ“パチャパチャ”“パチャパチャ”と水面をたたいて笑顔の子どもたち。保育者がホースで水を雨のように上から降らせると、手を上にあげ「うわーあ」と喜び、顔に水がかかっても平気！！思う存分に水の感触を楽しんでいました。



### クレヨン制作

大型絵本“きんぎょがにげた”の絵本を読んだ後に金魚の形の紙を出すと興味を示し、クレヨンを持ち、クルクルやトントンをして模様を描きました。また、指先を使い目シールを貼りつけて、とてもかわいい金魚が出来上がりました。

### 子どもたちの大好きなえほん紹介

- 言葉の音を楽しむ本(自分が発することのできる音が多く出てくる)…「がたんごとんがたんごとん」
  - 知っているものの名前を楽しむ本…「ずかん・じどうしゃ」「てんとうむしぱっ」「くだもの」
  - 言葉や場面が繰り返し出てくる本…「のせてのせて」「だるまさんが」「ももももこ」
- 子どもたちの興味に合わせて新しい絵本の準備をしています。



### ～お知らせ～

・水遊び着替え準備と毎日のカード記入にご協力をいただきありがとうございました。シャワーは引き続き行いますので、毎日のカード記入・体拭きタオルと着替えの補充をお願いいたします。